

令和元年6月における会員の財務状況等

日本商品委託者保護基金

1. 会員数の状況

会員数は26社。内訳は受託会員14社、取次会員12社となっている。

2. 委託者数等の状況

委託者数は延べ79,043口座で前月比0.1%増となる一方、建玉委託者数は13,026口座で前月比2.5%減となった。また、役職員数は4,036人で前月から25人減少した。

3. 委託建玉及び預り証拠金の状況

委託建玉は573,337枚で、前月末から18,507枚減少する一方、預り証拠金は1,225億8百万円となり、前月比で83億24百万円増加した。なお、委託者に占める建玉委託者は、16.5%となり、前月比0.4ポイント減少した。

4. 純資産額の状況

会員の純資産額は総額3,277億52百万円となり、前月比0.1%の減少となった。

5. 損益状況

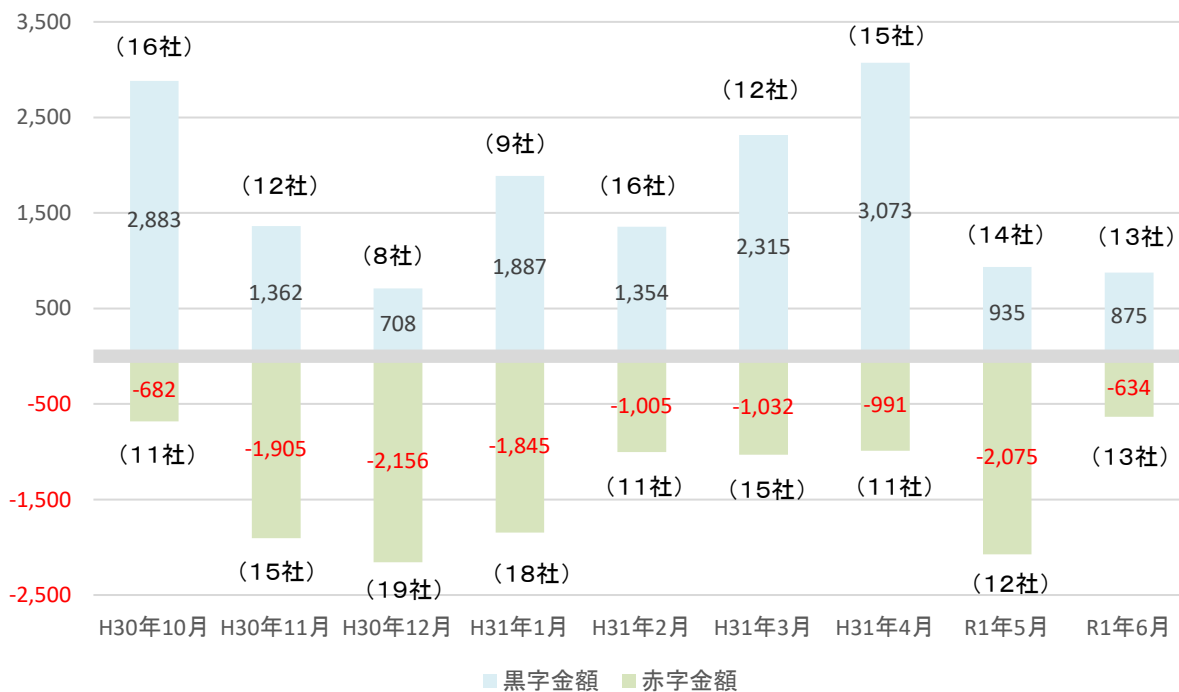
今月の当期純損益について、黒字の会社が13社、赤字の会社が13社となり、全体では2億41百万円の黒字となった。金相場が4,500円台から5,000円に迫る勢いで上昇し、それに伴い取引高が伸びた影響で、商品先物取引に係る受取委託手数料は約23億円(前月は約15億円)を計上した。なお、商品先物取引に係る受取委託手数料は増加したが、それ以外の理由により黒字社数は前月の14社から1社減少した。

6. 取引高の状況

委託取引高は、前月比53.1%増(前年同月比2.3%減)の約378万枚となった。その要因は、白金標準取引(前月比26.1%減の約43万枚)、プラチナスポット(前月比47%減の約2万枚)及びガソリン中京(前月比58.1%減の約700枚)が減少したものの、金標準取引(前月比136.7%増の約207万枚)、金ミニ取引(前月比102%増の約15万枚)及び東京ゴールドスポット100(前月比142.9%増の約34万枚)の増加が大きかったためである。なお、とうもろこしは6か月連続で増加している。

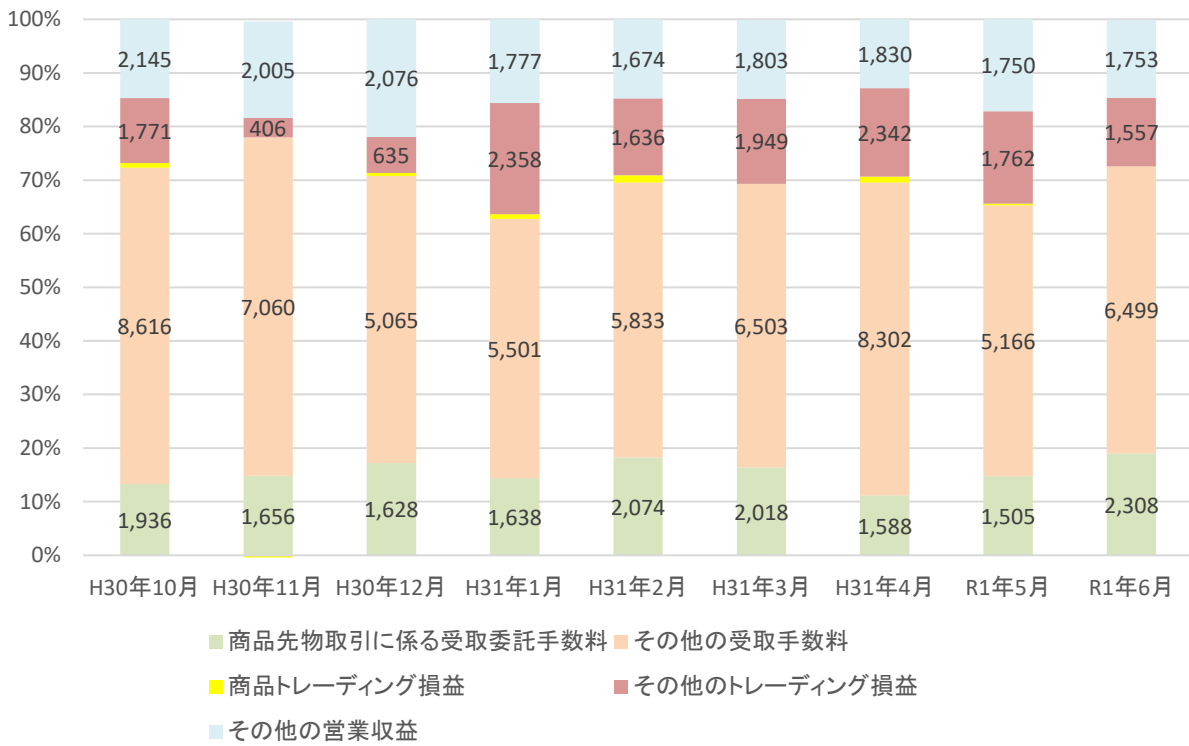
当期純損益推移

(単位: 百万円)



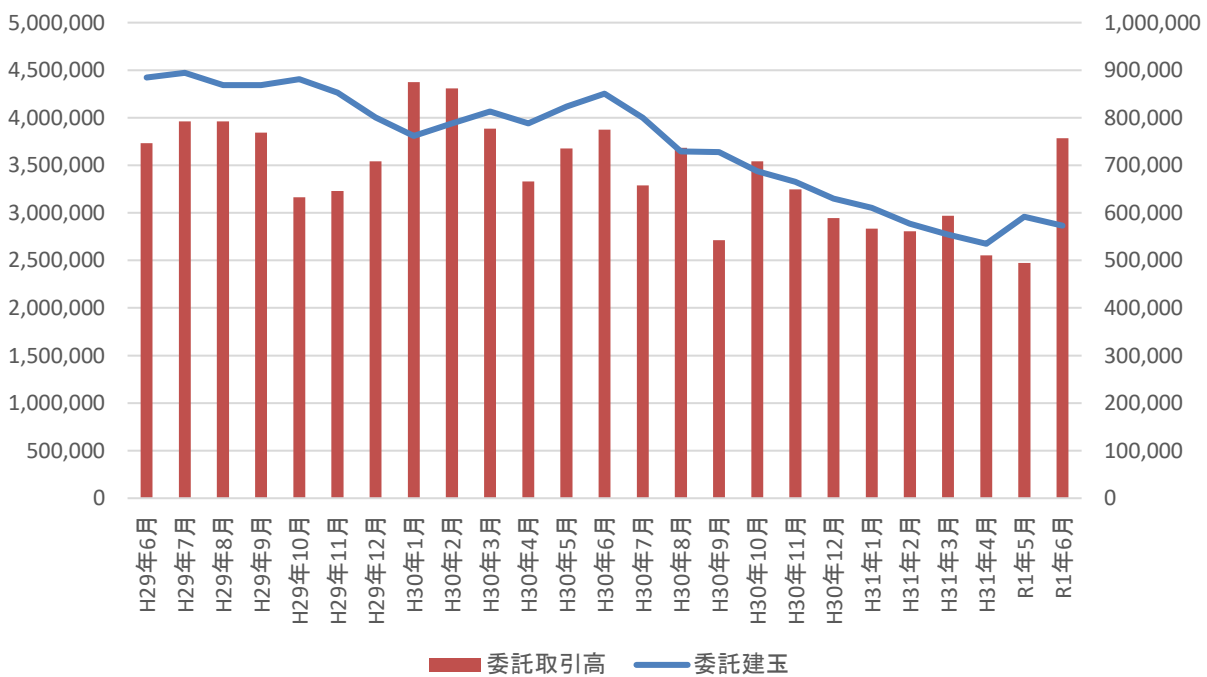
営業収益内訳割合

(単位:百万円)



委託取引高及び委託建玉推移

(単位:枚)



以上